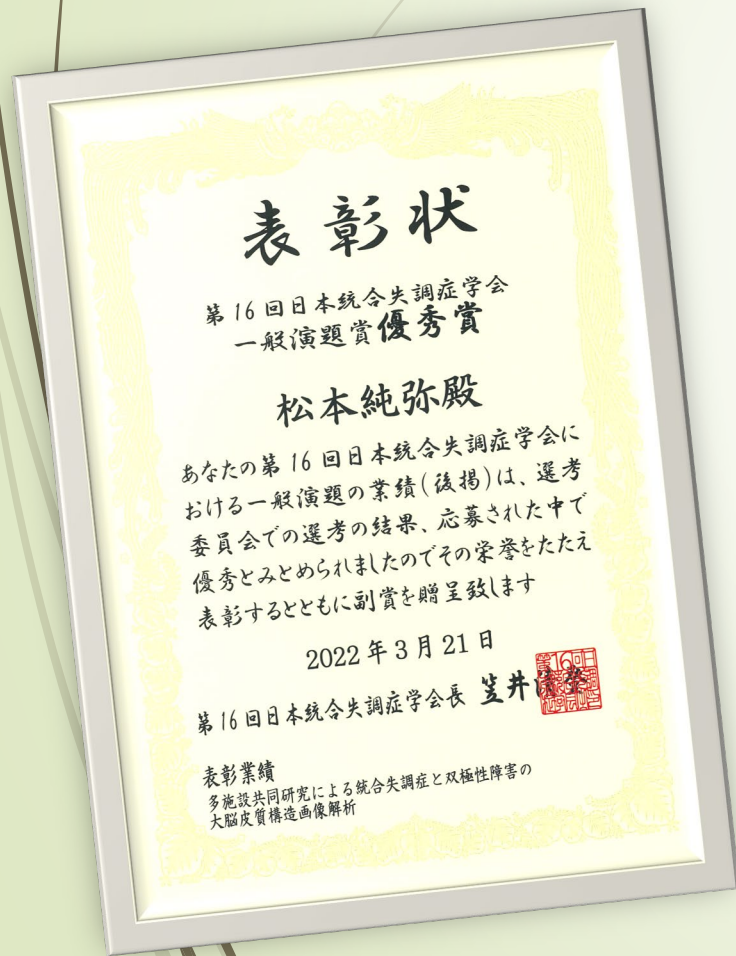


松本純弥先生が第16回日本統合失調症学会にて 一般演題賞優秀賞を受賞しました!

*** 受賞演題 *** 多施設共同研究による統合失調症と双極性障害の脳皮質構造画像解析

*** 研究概要 ***

統合失調症 (SC) と双極性障害 (BD) について多施設からT1強調核磁気共鳴画像データを取得し、脳皮質厚と脳皮質面積の脳皮質構造についてケースコントロールのメタ解析を実施しました。認知ゲノム共同研究機構 (Cognitive Genetics Collaborative Research Organization: COCORO) により、SCでは12施設1450例のSC群と2583例の健常群を、BDでは8施設から235例のBD群と1057例の健常群を解析に組み込みました。皮質厚については、SC群とBD群ではともに健常群に対して皮質厚が菲薄化していましたが、皮質面積についてはSC群でのみ面積減少が認められました。今回の皮質厚の菲薄化の共通性と皮質面積減少の相違はSCとBDのそれぞれの病態の共通点、相違点を反映している可能性があります。



(前列中央左 / 松本純弥室長、
前列中央右 / 橋本亮太郎部長)

※感染症対策のもと、
撮影時のみマスク
を外しています。